



～養子縁組で相続税の節税～

税理士・行政書士・ファイナンシャルアドバイザー
村尾 法生



相続税の節税のために、長男の嫁や孫を養子にするといったことがあります。養子縁組により相続税の基礎控除額や生命保険金の非課税枠が拡大され相続税の節税効果があります。養子縁組には、「特別養子縁組」と「普通養子縁組」の2つの方式がありますが、相続対策として活用されるのは「普通養子縁組」となります。なお、普通養子縁組で養子となった者は、養子先の親（養親）の相続人になりますが実親との親子関係は消滅せず、養親と実親の2組の親の子となり相続人になります。

1.養子縁組の節税メリット

① 養子縁組により、「法定相続人の数」（注）が増え、下記の控除額が増加し相続税の負担が減少します。

遺産に係る基礎控除額 : 3,000万円 + 600万円 × 法定相続人の数
生命保険金の非課税金額 : 500万円 × 法定相続人の数
退職手当金の非課税金額 : 500万円 × 法定相続人の数

（注）養子の数の制限

民法上は養子の数に制限はありません。何人を養子にしても問題はありません。しかし、相続税においては租税回避を防止するため、法定相続人の数に含める養子の数に制限があります。実子がいる場合は1人、実子がない場合には2人までになります。

② 相続税の総額が少なくなる。

相続税の計算は、法定相続人が法定相続分の遺産を取得するものと仮定して、その遺産額に応じた税率を乗じ相続税の総額を計算します。相続税は所得税と同じく超過累進税率なので、遺産額が多くなるほど税率が高くなり相続税額も高くなります。養子縁組をした場合には、相続人が

◆相続税の総額◆

（課税遺産額）	実子1人	実子1人+養子1人	節税額
	基礎控除 3600万円	基礎控除 4200万円	
5000万円	160万円	80万円	△80万円
6000万円	310万円	180万円	△130万円
8000万円	680万円	470万円	△210万円
1億円	1220万円	770万円	△450万円
1億5000万円	2860万円	1840万円	△1020万円
2億円	4860万円	3340万円	△1520万円

2.養子縁組のデメリット

- ① 相続人が増えることにより遺産分割がまとまらなく可能性が増える。養子にも相続権があるので、養子が想定以上の財産の分配を主張したり、相続人が増えたことにより、相続分が減ったという不満がでることも考えられます。
- ② 孫養子の場合、その孫養子の相続税は2割増しとなる。しかし相続を一代飛ばすことができる、トータルで節税になればデメリットではなくなります。
- ③ 姓が変わる。

養子縁組は、節税効果だけでなく色々な角度から検討が必要です。
また、事前に他の相続人に報告し了解を得ておくことをお勧めします。

村尾法生税理士事務所(村尾法生行政書士事務所・合同会社村尾FP事務所)
〒604-8175 京都市中京区室町御池下ル円福寺町342-1 VOICE21ビル401号
TEL:075-708-5591 FAX:075-708-5592 E-mail:murao-kimio@tkcnf.or.jp

RANZ news

2024年3月 No.116号



わたしたちグループは、心地よい住まいのプランナーとして地域に貢献し、「信頼」される企業、「安心」を与える企業を目指します。



IoT製品最前線 「スマートファニチャー」とは？

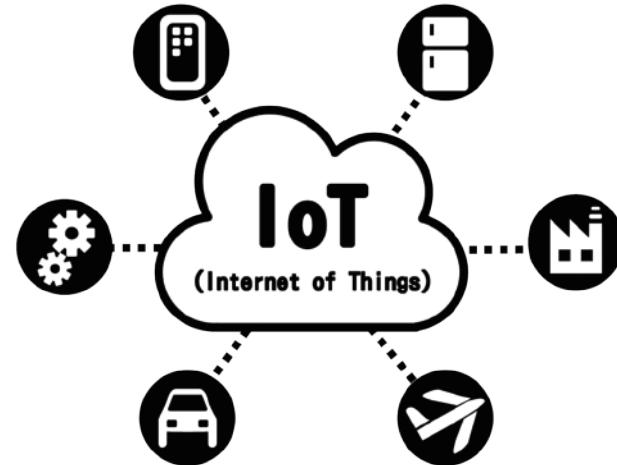
住宅業界内で密かに話題となっている「スマートファニチャー」をご存じでしょうか。ファニチャー(furniture)とは日本語で家具のこと。すなわちスマートファニチャーとは、近ごろ目にすることの増えた“スマート家電”と同様、インターネットに接続して便利に使うことのできる“スマート家具”を指す言葉です。

棚やベッドなどの身近な家具がIoT製品に

具体的に“ネット接続された家具”を想像してみましょう。例えば「ラック（棚）+インターネット」の組み合わせ。脚にキャスターがついていて、手でコロコロと動かせるラックやワゴンはありふれた製品ですが、市場には既にこうした家具をスマートフォンで自在に操り、「声をかけるとラックが足元にやってくる」そんな未来的なシーンを実現できる製品も登場しています。さらには、テーブルやベッドのような大型スマートファニチャーも。最新のスマートベッドは、寝ている人の呼吸や脈拍、いびきに応じて自動的に変形し、より快適な睡眠・起床をサポートする機能を搭載しているのです。

家具の進化で入居者の暮らしも変化

スマートファニチャーは家具の数だけ多様化と利用拡大の可能性を秘めています。重い洗濯物を自動で運んでくれるラックも、睡眠時無呼吸症候群を予防してくれるベッドも、いずれは、私たちの生活に急速に浸透したロボット掃除機のように当たり前の存在となるかもしれません。そしてそれは、賃貸入居者の生活も変化することを意味します。PC・スマホに加えて、掃除機・冷蔵庫等のスマート家電、さらに棚・ベッド・椅子といったスマートファニチャーが生活必需品となれば、部屋には安定的なインターネット環境はもちろん、ネット接続機器数の余裕や、一定以上の回線速度も求められるようになるでしょう。ITの進化は目覚ましく、インターネット無料も、もはや当たり前の時代です。最新情報にアンテナを立て、人々の生活の変化に備えましょう。



今月のTopics

- ◆ IoT製品最前線「スマートファニチャー」とは？
- ◆ 賃貸を選ぶときインターネット無料物件を選ぶ？
- ◆ 養子縁組で相続税の節税



RANZ Group

miniTech
west japan

CONQUEST

ディーラー

RANZ OFFICE SUPPORT

【賃貸を選ぶときインターネット無料物件を選ぶ?】回答者549人アンケート調査

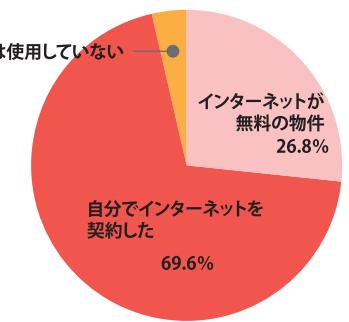
無料インターネットが賃貸選びにどれくらい影響するのか調査

テレワークが普及し、家でインターネット回線を利用する人が増えている昨今。「毎月のインターネット料金の負担を少しでも減らしたい」「インターネット無料物件に興味がある」という方もいるのではないでありますか。今回不動産メディア「幸せおうち計画」を運営する、株式会社AZWAY(本社:東京都豊島区、代表取締役:井口梓美)は、10代から60代以上までの549人を対象に「インターネット無料は賃貸物件選びにどのくらい影響するか」についてアンケートを実施しました。

■調査対象:10代から60代以上までの549人 ■調査期間:2023年12月13日~12月27日 ■調査機関:自社調査
■調査方法:インターネットによる任意回答 ■有効回答数:549人(女性 329人/男性 217人/その他3人)
■回答者の年齢:10代0.5%、20代13.3%、30代35.7%、40代31.7%、50代15.1%、60代以上4%

Q.現在の住まいのインターネット状況

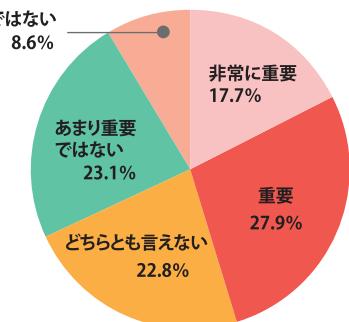
Q.現在の住まいのインターネット状況を教えてください。 n=549(人)



10代から60代以上までの回答者549人に「現在の住まいのインターネット状況」について聞いたところ、「インターネットが無料の物件に住んでいる」と答えた人は147人(26.8%)、「自分でインターネットを契約した」が382人(69.6%)、「インターネットは使用していない」が20人(3.6%)という結果になりました。自分でインターネット契約をしている人が7割にのぼる一方、インターネットが無料で使用できる物件に住んでいるという人も約3割いることがわかりました。インターネット無料物件が普及し、多くの人に受け入れられていることが窺えます。

Q.無料インターネットの有無が賃貸選びにどの程度影響するか

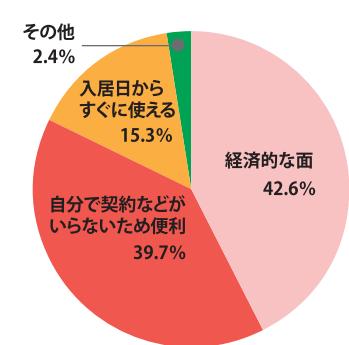
Q.無料インターネットの有無はあなたが賃貸物件を選ぶ際にどれくらい重要ですか(重要でしたか)? n=549(人)



また、「無料インターネットの有無が賃貸選びにどの程度影響するか」について聞いたところ、「非常に重要・重要」と答えた人は250人(45.6%)、「どちらでもない」が125人(22.8%)、「あまり重要ではない・全く重要ではない」が174人(31.7%)という結果になりました。現在、インターネット無料物件に住んでいない人の中にも「重要」と回答した人がおり、インターネット無料物件に住みたい人が増えていることがわかります。

Q.インターネット無料物件を選ぶ理由

Q.無料インターネットの物件を選ぶ理由は何ですか(何だと考えられますか)? n=549(人)

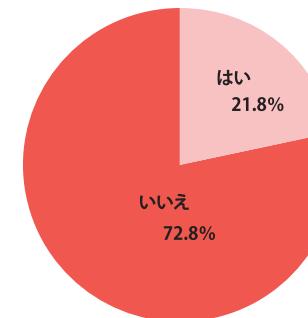


続いて、「インターネット無料物件を選ぶ理由」について聞いたところ、1位は「経済的な面」で234人(42.6%)、2位は「自分で契約などがいらない」で218人(39.7%)、3位は「入居日からすぐに使える」で84人(15.3%)という結果になりました。わざわざ自分で契約しなくても良いことやすぐに使える利便性、月々の負担が大きいインターネットの支払いがないことが人気の理由になっているようです。

Q.インターネット無料物件に住んだことがある人へ「トラブルがあったか」

Q.「無料インターネット物件に住んだことがある人へ」

無料インターネットを使用する中で何かトラブルはありましたか? n=238(人)

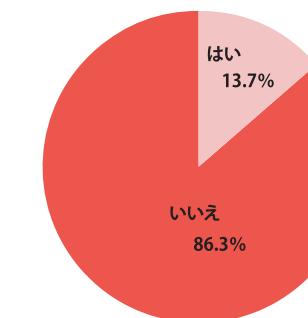


また、これまでインターネット無料物件に住んだことのある238人に「トラブルがあったか」について聞いたところ、「はい」と答えた人は52人(21.8%)、「いいえ」と答えた人は186人(78.2%)という結果に。5人に1人が何かしらのトラブルに遭遇していることがわかりました。

Q.自分でインターネット契約をした際トラブルにあった

Q.「無料インターネット物件に住んだことない人へ」

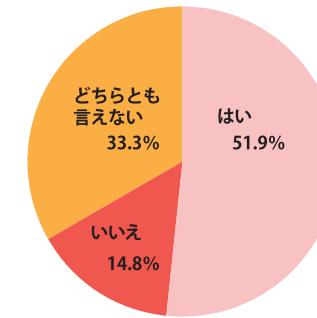
自分でインターネットを契約する中で何かトラブルはありましたか? n=328(人)



最後に、「自分でインターネット契約をした際、トラブルにあったことがあるか」について聞いたところ、「はい」と答えた人が45人(13.7%)、「いいえ」が283人(86.3%)という結果になりました。自分で契約した人の方がインターネット無料物件の人と比べてトラブルの割合が少ないという結果になっており、インターネット業者の選定が重要であることがわかります。

Q.もし引っ越しをするなら、無料物件に住みたいか

Q.もし引っ越しをするとしたら、無料インターネットの物件に住みたいと思いますか? n=549(人)



また、「もし引っ越しをするなら、無料物件に住みたいか」について聞いたところ、「はい」と答えた人が285人(51.9%)、「いいえ」が81人(14.8%)、「どちらとも言えない」が183人(33.3%)という結果になりました。現在無料物件に住んでいる人数よりも多くの人が無料物件に住みたいと考えており、無料物件への注目度の高さがわかります。

まとめ

現在、インターネット無料物件に住んでいる人は約3割おり、物件選びをする際、インターネット無料物件かどうかが重要と答えた人は全体の4割以上にのぼるという結果になりました。また、次の引っ越しでインターネット無料物件に住みたいと考えている人は半数以上おり、インターネット無料物件への注目度が高いことがわかります。